



テーマについて何が話されるのかを予想して、聞き取るときの観点をあげます。そのうえで話を聞き、何が話されたのか（話されていないのか）を捉え、内容を比較し、共通点や相違点を見つけましょう。その際、メモを取ることが重要です。



相違点を明確にする

話を聞く際には、話し手と自分の考えとの相違点を明確にすることが大切です。事前に話の展開を予想したうえで、どこがどのように違うかを捉えながら聞きましょう。



相違点を明確にして聞く

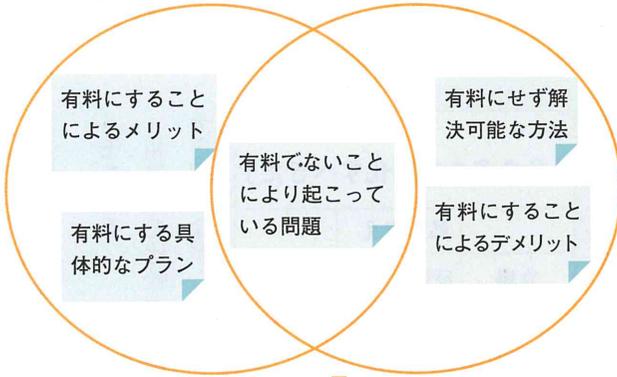
話題

構成・考えの形成

表現・共有

「すべき」の立場

「すべきでない」の立場



■相違点を明確にする方法
スピーチ「救急車を有料化すべきだ」

立場		
現状		
具体的なプラン		

立場によって話されるであろう内容を想定してメモを準備する。

目標

- 情報の表し方を捉え、論理の展開に注意しながら聞く。
- 話し手と自分の考えを比較しながら自分の考えをもつ。



学習活動の流れ

話題

構成・考えの形成

表現・共有

話す活動

1

- ①「……を……すべきだ」の形で、スピーチの共通テーマを決める。
- ②テーマについて情報を集める。

2

自分の考えとその根拠こんきよの関係を意識しながらスピーチの展開を考える。

3

スピーチをする。

聞く活動

1

スピーチのテーマをイメージしながら、自分の考えとの相違点を比較するためのメモを準備する。

2

類似点や相違点を意識しながらスピーチを聞く。必要に応じて質問をする。

3

自分の考えやその根拠との相違点を踏まえながら、テーマに関して改めて自分の考えをもつ。

相違点を比較して考えるポイント

メモを取る

相違点を比較するためのメモを準備し、スピーチを聞きながらメモしよう。

テーマ	[救急車を有料化すべきだ]	
	私の考え	
立場	反対	
現状	救急対応が追いつかない	
具体的なプラン	*トリアージ 民間の救急搬送サービス	
メリット、デメリット	利用をためらうことで……。	

*トリアージ 多くの傷病者がいる中で、緊急性や症状・けがの状態に応じて治療の優先度を決めること。

自分と同じ立場の場合、自分になり考え方を自分の考えの中に取り入れられないか考えてみよう。自分と異なる立場の場合、相手の述べる内容が適切か判断するとともに、自分の立場を再度考えてみよう。





言葉・情報

……を……すべきだ。(結論づける)



救急車を有料化すべきだ

救急対応が追いつかないということが、すでに二十年以上いわれてい
ます。総務省のデータでは、二〇二〇年では、約五・三秒に一回の割合
で救急車が出動し、約五百二十九万人が搬送されましたが、搬送される
人の約四十五％が、入院を必要としない軽傷者だそうです。そのことも
あり、速やかに対応すべき人の処置がまにあわず、救急車で運ぶ必要の
ある人が運べない事態が起っています。

このようなことが起きている原因の一つとして、救急車が無料である
ため、安易に利用されやすいという実態があると思います。そのことを
踏まえ、例えば、救急車を一回利用するにあたり、五千円をその利用者
が負担することを提案します。山岳救助などで民間の救助隊が出動した
ときは、費用負担が求められますので、それは当然のことだと思いま
すし、高額すぎず、かつ利用するかしないかを判断する金額としてこの額
を設定しました。

このプランを採用することのメリットは二つあります。一つは救助を
本当に必要とする人が利用できるようになるということです。(以下略)



学びを生かす

議論をする場面で役立てよう。

振り返り

- スピーチの中の情報に注意して聞き、疑問に
思ったことや考えたことをメモしているか。
- 話し手の考えと自分の考えを比較することで、
自分の考えが明確になっているか。

相手の立場や話の内容を準備
した観点にそって書き出し、自
分の考えと比較してみよう。現
状認識が同じなのはどうして立
場が異なるのだろう。



	私の考え	アキさん
立場	反対	賛成
現状	救急対応が 追いつかない	同左
具体的な プラン	トリアージ 民間の救急 搬送サービス	有料 1回5000円
メリット、 デメリット	利用をため らうことで ……。	安易な利用 が減る……。
疑問・考察		
有料→国や自治体の財源になる		
↓		
本来対応すべき人に対応できない		

ハルさんのスピーチメモ

